

1994



平安建都1200年祭  
仮設モニュメント



1998

大津市制100周年記念展  
「アーケードアーツ・イン・ナカマチ」



うち10体が  
滋賀県立近代美術館に



7色に塗り分けられた7体を残し

成安造形大学グランド(滋賀県)

## ヴォワイヤン 寄贈プロジェクト

サンメッセ日南(宮崎県)  
「モアイと海を見るヴォワイヤン」

2012



新天地を求めて、日本各地に旅立つ

2013



# Voyant ヴォワイヤン 素材:強化プラスチック/F.R.P.

- 1981 ポートピア博テーマ館で、写真・ビデオを加えたインスタレーション作品として、その原型となる白いヴォワイヤンが初登場。
- 1988 黄色いヴォワイヤンがツインタワーの吹き抜け中空から大阪城を望む(「都市伝説`88」展)。
- 1994 平安建都1200年祭の仮設モニュメントとして4色の64体が高さ10メートルの檣から京都の街を眺めた。閉幕後、学生100余人が会場から京都駅まで担いで行進、電車に乗って大津の成安造形大学まで運ぶパフォーマンス「ヴォワイヤン大移動」を挙行。以降、高台のキャンパスから琵琶湖の風景を眺め、その間、川西市制40周年記念展「一日美術館」で黄色40体が庁舎カウンター内の職員席を占拠した。また神戸に竣工した夢創館の屋上にアルミ鑄造による『海を見るヴォワイヤン』が恒久設置される。
- 1998 大津市制100周年記念展「アーケードアーツ・イン・ナカマチ」で商店街の各店に黄色い64体が勢ぞろいする。
- 2002 「ヴォワイヤン、花見に行く！」オープンカーで京都・大阪城などへ。
- 2008 成安造形大学ギャラリーアートサイトでの「In Search of Colors」展に7体がデジタルカラー7色となって出品。
- 2010 成安造形大学に7色7体の屋外恒久設置を皮切りに「ヴォワイヤン寄贈プロジェクト」として各地に分散展示・所蔵される。
- 2011 滋賀県立近代美術館に屋内仕様の黄色10体が収蔵。
- 2012 社会福祉法人・松花苑みずのき(京都府亀岡)が黄色14体を管理、付近の国分寺近隣に仮設され、地域の文化・福祉事業で展開。大津出立に際し、琵琶湖畔の大観覧車に搭乗して湖国の風景を見下ろした。続いて、太平洋を望む宮崎県のサンメッセ日南(一燈園運営)に18体の『モアイと海を見るヴォワイヤン』が、熊本県の社会福祉法人・清香園に7体、島根県益田市の公園に5体、滋賀県環境こだわり農園の水田に黄色の『田んぼヴォワイヤン』が屋外設置。
- 2013 今井氏の元に残った最後の黄色いヴォワイヤン。「箕面の森アートウォーク」では、スタッフやときに観光客と連れだって、橋本亭から大滝まで往来。以来、「箕面の森アートウォーク」の事務所に逗留。